

委員会行政視察報告書

大崎市議会 調査活動概要報告書

1. 視察概要

委員会名	情報化対策特別委員会
委員名	佐藤弘樹・木内知子・山田和明・只野直悦・遊佐辰雄・中鉢和三郎・佐藤仁一郎 佐藤仁一（事務局:手島 明）
日時	平成 27 年 1 月 19 日 午後 2 時から午後 4 時まで
視察先	宮城県利府町議会
出席者 (説明者)	郷右近隆夫議長 議会広報常任委員会:遠藤紀子委員長・吉田裕哉副委員長・木村範雄・高久時男 吉岡伸一郎 事務局:庄司栄一郎局長・高野糸子主事

2. 視察内容

視察項目	<ul style="list-style-type: none">●議会だよりの概要●議会だよりの編集方針・ページ構成●その他（議会報告会や議会改革への取組み）
視察内容 【質疑応答】	<ul style="list-style-type: none">●「りふ議会だより」発行の経過<ul style="list-style-type: none">・昭和47年頃から議会内部において、議会広報発行の有無について、度々議題となり、その都度検討されてきたが、職員数及び予算等の問題で実現できなかったが、昭和 50 年の改選により協議会を設けて検討を進め、昭和 51 年5月に創刊した。以来、議会広報に対するアンケート調査や地方議会人などのクリニックを受け、解りやすい、読まれる議会だより編集に努力している。この間、宮城県町村議会広報選考会の入選、特選、町村議会広報全国コンクールで特別優秀賞、優秀賞、優良賞などを受賞する議会として全国に発信している。●発行回数や部数並びに発行経費、広報紙の大きさ<ul style="list-style-type: none">・年4回定例会ごとに、13, 500部発行している。平成26年度は1, 583千円。A4判。●委員会構成や職務並びに費用弁償<ul style="list-style-type: none">・副議長、議員6名(3常任委員会から2人選出)の計7名。・原稿作成から発行まで行う。1日 ¥400円の費用弁償。●発行までの工程<ul style="list-style-type: none">・定例会開会の5日前に議会運営委員会と連動して、第1回の委員会を開き、編集方針やページ構成等の合意を基に、ページ数、記事構成、掲載内容、記事分担などについて決定する。一般質問者には、一般質問終了後に広報用原稿作成の依頼をする。・議会閉会の2週間後に第2回の委員会を開催し、第1回の委員会決定を受けて原稿の

	<p>作成に入る。また、一般質問者から提出された原稿の校正を行うとともに、担当ごとに議事録からの要約や確認作業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会終了後、正副委員長が確認を行い、事務局に引渡し、その内容を確認の上、業者に発注する。 ・30日後に第3回の委員会を開き、各校正を行う、事務局は終了後に最終校正を行うとともに正副委員長が原稿の確認を行い、その後に議長の決裁を受ける。 ・出来上がった「りふ議会だより」を各行政区長を通じて各戸に配布となる。 <p>■ 質 疑</p> <p>(問)見やすい紙面づくりへの工夫や余白の取り方、カラーの採用と変更、二色だけでも億や万円の採用で読みやすい。</p> <p>(問)民間事業者の研修を受け、正確に、迅速に、誰に何を伝えたいのか？ また、視線の誘導を考え、読んで頂く工夫が必要と学んできた。</p> <p>(問)クリニックは何年かで行っているのか。追跡レポートを続けているが？</p> <p>(問)表紙や見出し、割り付けレイアウトの工夫が良い。大崎市議会だよりの感想は？</p> <p>[答]中学生を基準にした紙面づくりを心掛けている。タテ字数を11文字にしてある。大崎市議会は13文字ですね。平成はカットしている。</p> <p>[答]一般質問は表紙に氏名と項目を入れている。議案採決を一覧で全て纏める。</p> <p>[答]問いを長くせずに割り付ける。文章は短く、～～が、～～とか、は止めること。</p> <p>[答]追跡レポートの取り上げは、年に2～3名の議員が質疑した課題を取り上げている。</p> <p>[答]市民の声を載せている。</p>
<p>考 察</p> <p>【所感・課題・提言等】</p>	<p>町民に解りやすく、読まれる紙面づくりに、利府町議会広報常任委員の研究心と熱心さに驚かされた。関係機関のクリニックと改善を検討し続けて、町民の目線を大切にしている。大崎市議会でも、市民の読みやすさや解りやすさの点に配慮する時、見出しやタテ11文字、余白の大切さを重んじる必要があると感じた。</p>
<p>記録委員</p>	<p>佐 藤 仁 一</p>

以 上